

平成24年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

医学部 医学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

- 1 次の英文および表を読んで以下の各問に答えなさい。

非公開

Thursday, April 21, 2011, Japan Times (抜粋)

(<http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/nn20110421a5.html>,2011/09/03)

非公開

※2011年9月2日警察庁緊急災害警備本部発表 (抜粋)

(http://www.npa.go.jp/archive/keibi/biki/higaijokyo_e.pdf,2011/09/03)

注釈

1. casualties 死傷者
2. autopsies 検死解剖
3. highlighting 目立つ
4. countermeasures 措置

問1 近年、日本では1995年1月の阪神・淡路大震災と2011年3月の東日本大震災という2つの大震災がありました。阪神・淡路大震災での人的被害は死者・行方不明者6,437名、負傷者43,792名であったと報告されています。2011年4月のJapan Timesの記事と9月に発表された警察庁緊急災害警備本部の報告からわかる東日本大震災の人的被害の特徴を日本語150字以内で説明して下さい。

問2 離島・地域医療に従事する医師が、その地域で災害が起きたとき、どのような貢献ができると思いますか。貴方の意見を日本語200字以内で記述して下さい。

② 医療、福祉、教育分野において、貴方が住む地域の先輩方（歴史上の人物を含む）のなかで尊敬する人を一人挙げて下さい（両親・親戚は除外する）。また、その理由を200字以内に記して下さい。

出題の意図

1

問1 東日本大震災という最近起きた災害における犠牲者の特徴を記した新聞記事および表から得られた情報の要点を把握し、的確に伝える能力を問う。

問2 国民の生命・財産に多大な影響を及ぼす災害の実態に関心を持ち、地域や社会の医療ニーズを考え、的確に伝えることができる能力を問う。

2

推薦入試アドミッション・ポリシーの項目には、「地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人」と書かれています。沖縄県の地域文化などにもある程度関心のある学生を選抜することを意図していると考えます。

尚、面接の前に、問題をコピーして、面接者にこの事実を知らせることで、この内容をベースに面接できる情報提供も可能と考えて、出題した。